

恩師からの便り

小原 裕 先生

昭和48年4月～54年3月 国語科教諭

竹田高校は3校目の学校でした。着任して驚いたことは、全校集会で校長に続いて生徒会長の話があることでした。前任の学校では集会に生徒の出番はほとんど無く、堂々と発する姿。そして、歓迎遠足で見たストーリーム。大学の寮歌のストーリームを思い出し、もしかすると、とんでもない学校に着任したのかとみていました。

フルマラソンを走る長距離走。そして、文化祭。教師の力無しには成立しない文化祭しか



小原裕先生の近影

担当は小川英則先生でした。3月人事異動の夜、突然校長から電話、「国語科に空きができたので、1名推薦しなさい」と。こんな若造の推薦で良いのかと思いつつ、いつか同じ学校で勤務しようという約束を実現するために、高校3年次は隣の席、同じ大学で国文専攻の小川英則君に電話。海辺の学校に行きたがっていた漁師の子小川君を説得して、念願のいっしょに勤務することになったのが竹田高校でした。

「教師が勉強しなければ、生

知らなかっただけに、そのエネルギーに驚かされました。なかでも、それはすでに高校生の芸ではなく、卒業したらどうするんだろうと思いつつ、いつか同じ学校で勤務しようという約束を実現するために、高校3年次は隣の席、同じ大学で国文専攻の小川英則君に電話。海辺の学校に行きたがっていた漁師の子小川君を説得して、念願のいっしょに勤務することになったのが竹田高校でした。

「目を病んで他人のやさしさ見えはじめ」

「こうやって

祖先も夜空見上げたか」

「ホスピスをつつむ一期の蟬しぐれ」

こうやって始めた音訳ですが、今も音訳ボランティアグループ「一水会」に所属し活動が続いています。

竹田へ行くと竹田高校へ行つてみたくなります。「〇〇さんが家出する」との電話で、始発前の駅で待ち続けたこともありました。新しい入試制度の変った年、3年生の担任で進路指導の進学担当でした。勉強しなさいとしか言わなかった教師であつた気もしますが、竹田高校は、青春する高校生といっしょに生活できた、思

徒は勉強しない」というのが竹田高校国語科の先生方でした。教科の飲み会も句会でした。国語科の先生方の句と俳人の句を無記名でランダムにプリントし、酒の勢いも借りての句会でした。良い句だと言われた記憶はありません。

小川君とはおたがい転勤して、教職をあと2年の3月、分掌のことで相談の電話をする

と、「黒板にまっすぐ字が書けなくなつた。休職する」難しい名の眼の病気でした。そして、そのまま退職。

退職後、毎日新聞の「仲畑流万能川柳」に春野小川の柳名で投稿しているが、読むのに苦労しているとのこと。手伝いをと思ひ点字図書館の音訳講習を受けました。「仲畑流万能川柳」を音訳録音CDで届けて来たのですが、先に逝つてしまいました。

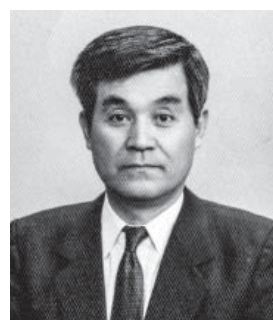
音訳は目の不自由な人に、朗読とは違い、書かれている情報を正確に、感情表現なしで読み上げるものです。聞く人の解釈を妨げない様に感情を消して読むことは優しいことではありませんが、やりがいいのあることでもあります。一度小川君に講師として「一水会」で話をしてもらったこともありましたが、受ける情報の少なくなった視覚障害者にとって、音訳は大事な情報だとの話でしたが、自分の聞いた音訳のなかの「読み間違い」漢字の指摘は、竹田高校の教科会議のようでした。



大分県立竹田高等学校
関東同窓会報
第61号

発行者・会長 菅 博敏
編集者・委員長 衛藤 淳
発行所・関東同窓会事務局
〒194-0013
東京都町田市原町田4-17-20
電話 042-725-5018

<http://kantoutaketa.org/>



竹田高校時代の小原先生

會長挨撈

3年ぶりの 総会開催にむけて

さて、桜満開のなか3月27日私学会館において、役員及び幹事の方々が一堂に会し春の役員会および幹事会を開催いたしました。

議題は、新役員体制について、令和4年関東同窓会総会・懇親会の開催について、ホームページ管理の変更について、各委員会報告等であります。

特に総会、懇親会については、コロナの感染拡大の影響を受け昨年、一昨年と中止を余儀なくされており、左記の案を基軸に幅広く意見交換をいたしました。

一案：総会・懇親会共に実施する。（飲食を伴うので90

二案…総会・懇親会共に中止する。

三案…飲食を伴わない総会のみを実施する。(180人収容可能)

意見としては、3年振りでありコロナ対策を講じたうえで少人数になろうとも総会・懇親会を開催すべきである。コロナの感染状況は不透明であり会員の安全確保が担保できないのであれば中止もやむを得ない。飲食を伴わない総会であれば会員の安全確保は担保可能であり何も良い等がありましたが、いずれの意見も正論であり最終的には会長一任となりました。

会長としては、一案を採用したいところではありますが、コロナの第7波が予想される等感染状況が不透明であること、会員の安全確保が担保できること、そしてウイズコロナの継続という状況下、何かを行い一歩踏み出すことの重要性・意義等を総合的に判断し三案を採用することといたしました。

総会に併せて竹田市出身の花柳美匠治郎氏の舞踊鑑賞および参加者全員に手土産を考えております。

会員の皆様方には趣旨をご理解のうえ、3年振りに同期生との旧交を温めていただきたくご出席の程よろしくお願い申し上げます。



竹田高校関東同窓会の
総会を開催します！



企画委員長
後藤 修
(昭50年卒)

昨年、一昨年とコロナ禍の影響を受け関東同窓会を開催することができませんでした。現

時点では第6波のピークを過ぎ高止まりではありませんが減少傾向にあること、また3回目のワクチン接種が進んできたことことから3月の役員会・学年幹事会に参加された皆様で検討していただき、今年は総会のみですが開催する運びとなりました。

総会は、7月2日(土)13時から
JR御茶ノ水駅徒歩5分の所に
あります「東京ガーデンパレ
ス」にて開催予定です。

今回の同窓会は総会のみで飲食を伴う懇親会が用意できませんことから、少しでも参加され



花柳美匠治郎さん

る皆様に喜んでいただきたいと思ひ、総会に続いて花柳流師範の花柳美匠治郎さんによる日本舞踊を鑑賞していただきたいと考えております。

花柳美匠治郎さんは、竹田市（竹田中学）出身で一昨年に東京藝術大学を卒業した若手舞踊家です。

また、同窓会でもありますので少しでも竹田の香りを感じていただきたいと思い「荒城の月」と「三笠野」の詰め合わせをお土産として用意させていただきましたと考えております。当然ですが全て無料で用意させていただきます。よろしくお願いいたします。

今後のことは神のみぞ知ることですが、万一コロナによる影響が増加した場合は中止となることもございますのでその際にはご容赦願います。

企画委員会としましては開催できることを前提として、当番幹事の皆様と全力で用意させていただきますので、皆様には同

期の方々とお誘い合わせのうえ
ご参加いただき今後の関東同窓
会の継続に向けてご協力いただ
ければと思います。

多数のご参加をお待ちしてお
ります。

第36回竹田高校関東同窓会

総会

期 日／2022年7月2日(土)
受付開始▶13:00～
総会▶13:30～15:30
会 場／東京ガーデンパレス
参加費／無料



※**5月31日(火)〔必着〕**までに同封の出欠確認ハガキの送付をお願いします。

※コロナ感染症状況の急変などによって、**【中止】**となる場合があります。その場合は緊急連絡として出席予定の皆様には**ハガキ**で通知を行うほか、竹田高校関東同窓会ホームページにも掲載します。

- 飲食のご提供はできませんので悪しからずご了承ください。
- 感染症対策のためマスク着用をお願いします。
- 当日は事前に自宅で検温して発熱等がある場合は出席を控えるようにお願いします。

【ご注意】

令和4年 春の役員会・幹事会報告



幹事長
都 俊生
(昭44年卒)

令和4年3月27日(日)午後、アルカディア市ヶ谷にて役員会・幹事会が開催され、以下の事項について協議を行いました。

■新役員体制について

令和4年総会時に役員の改選期を迎えます。

新役員体制案(下表)が提出され、原案どおり満場一致で役員候補が選出されました。

総会の承認を経たのち、この7月から新役員体制の運びとなります。

■令和4年関東同窓会総会・懇親会の開催について

コロナウィルス感染流行のた

令和3年度 年間収支 (2022.3.31)

項 目	R2年 決 算	R3年 確定版
総会収入		
総会会費	0	0
総会祝儀	0	0
売店収入	0	0
販売手数料	0	0
小 計	0	0
総会費用		
ホテル支払	0	0
来賓土産/御礼	0	0
酒持込代	0	0
本部売店仕入	0	0
イベント費	0	0
記念イベント	0	0
会員土産代	0	0
DVD諸経費	0	0
印刷費	0	0
案内状	56,000	61,000
通信費	0	0
備品その他	0	0
その他諸掛	0	0
小 計	56,000	61,000
総会収支	▲56,000	▲61,000

(同窓会運営関連)		
維持会費収入	1,442,000	1,471,000
経常費用		
会報費	431,550	279,560
会議費	51,040	144,323
名簿費	13,908	13,572
HP費	6,294	101,008
幹事助成金	0	0
組織活動費	0	2,052
慶弔費	0	43,000
寄付金	0	0
新規事業	0	0
事務通信費	48,686	58,401
通信費	806	5,574
諸会費	0	0
手数料	46,230	45,550
荷造運賃	1,110	2,960
事務消耗品	540	4,317
母校支援費	23,617	34,810
母校120周年事業(H29)	0	0
小 計	575,095	676,726
維持会費収支	866,905	794,274
雑収入	50,518	30
寄付金収入	0	0
合 計	861,423	733,304
次期繰越金	3,918,710	4,652,014

め2年続けて中止を余儀なくされてきましたので、令和4年こそは！との期待を込めて開催準備が進められて来ましたが、昨年11月頃からは感染者数が急減する様相を呈し、開催への期待が更に高まりました。しかし、今年1月になるとオミクロン株による第6波の感染拡大が始まりました。この3月27日(日)時点では収束傾向が見られますが、感染者数の高止まりは続いています。このような状況下、関東同窓会総会・懇親会の開催について熱の入った協議が行われました。開催可否および開催方法について大きく意見が分かれたため、幹事会での最終判断を「会長一任」とさせて頂いたいただきました。決定事項は以下のとおりです。

・ 参加料は徴収しない。
・ 「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」発令などの事態が生じた場合には、6月上旬の時点で開催可否の判断を行う。

■ホームページ管理の変更について

これまでホームページ管理を広報副委員長の川辺さんに委託していましたが、川辺さんの仕事の都合により変更の必要が生じたため、外部委託することになったことが報告されました。委託先として、当関東同窓会報誌の印刷を委託している佐伯コミュニケーションズさんに委託すること、および費用として¥47,108の経費支出が生じたことが報告され承認されました。

した。
今後、ホームページ運営費として年間5万円程度の費用がかかることとなります。

■各委員会報告

①総務委員会から、「年間収支・年間予算」(上表)の報告がありました。

総会懇親会が2年連続で中止となる中にもかかわらず、維持会員の皆様には多大なご協

力をいただき有難うございます。今後とも引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

②広報委員会から、「大志文庫」第8回目報告(6頁表)と費用についての報告がありました。会員から素晴らしい数々の図書の紹介をいただいています。大志文庫の一層の利用促進・発展について提案などいただいたており検討してまいります。

新役員体制について(案)

★新任

会 長	★都 俊生	昭和44年卒
副会長	★辻 正太郎	昭和49年卒
総務担当	栗田 信子	昭和41年卒
企画担当	★高橋 敏政	昭和46年卒
組織担当	★川口 弘展	昭和45年卒
幹事長	★後藤 修	昭和50年卒
副幹事長	上野 聖展	昭和50年卒
事務局長	山部 光男	昭和53年卒
副事務局長	金子 知美	昭和53年卒
総務委員長	内藤 賢一	昭和52年卒
副委員長	★牧野 浩志	昭和60年卒
企画委員長	★志賀 昭靖	平成10年卒
副委員長	★後藤 章仁	昭和52年卒
組織委員長	保坂 斎子	昭和46年卒
副委員長	鈴木 敬子	昭和51年卒
副委員長	★佐保 哲郎	昭和54年卒
副委員長	岩男 暁子	昭和62年卒
副委員長	竹下 賢仁	昭和62年卒
副委員長	★飯田 良典	昭和51年卒
副委員長	清水 洋一	昭和52年卒



副委員長	濱口 鈴子	昭和26年卒
副委員長	佐藤 孝一	昭和57年卒
副委員長	川島 秀夫	昭和60年卒
副委員長	衛藤 淳	昭和52年卒
副委員長	川辺 浩克	昭和63年卒
副委員長	★鈴木 智子	平成2年卒
監 事	後藤 猛士	昭和41年卒
監 事	★高橋 公敏	昭和44年卒

■相談役・顧問

相談役	長吉 泉	昭和26年卒
相談役	佐藤 映之	昭和28年卒
相談役	用正 靖彦	昭和30年卒
相談役	松良 修二	昭和34年卒
相談役	★菅 博敏	昭和40年卒
顧問	坂本 勇	昭和28年卒
顧問	西 誠	昭和30年卒
顧問	加藤 興史	昭和33年卒
顧問	★麻生 三郎	昭和35年卒
顧問	★井手 得郎	昭和41年卒
顧問	★田部 修士	昭和42年卒

母校の話題

「目指せ！V字回復!!」のその後

教頭 甲斐 裕昭 先生

昨年の校長あいさつの中で、定員確保が儘ならない状況であることをお伝えしました。残念

ながら、令和3年度も定員を大きく割りました。竹田市の人口が減少し続けていることもあり、竹田高校が、今後も存続できるように竹田市とも連携しながら様々な取組をしています。

その中で明るい兆しもあります。十数年ぶりに最難関の国立大学受験に挑戦する生徒が育ち、部活動においても放送同好会が「殉空の碑」に纏わるドキュメント番組を作成し、NHK杯全国高校放送コンテストに出場を果たしました。

個を大切にする学習指導や「人間関係づくりプログラム」等の開発的生徒指導は、欠席する生徒の大幅な減少や生徒の満足度を上げることにつながりました。令和3年4月の竹田市長選で、本校出身の土居昌弘氏が新市長になったこともあり、令和4年度には市長が会長となり「竹田高校の未来を輝かせる会」も発足します。この機会に、竹高出身の教職員が増えればさらに勢いも出るのではないのでしょうか。さて、今号では同

窓会担当の安部泰昭教諭（お母さんが竹高OG）がさらに詳しく現況を報告いたします。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

変わりゆく竹田高校



同窓会担当
安部 泰昭 先生

本年度竹田高校同窓会担当をしております安部泰昭です。私は県外出身者であり、竹田高校の同窓生でもありません。

そんな竹田高校と縁も所縁もないような私ではありますが、実は母が本校の卒業生（昭52年卒）であり、親戚には竹田高校の卒業生が数多くいます。

昨年、私が竹田高校に赴任したということで、母が数十年ぶりに母校を訪れました。その際、母が何度も「変わったなあ」という言葉を繰り返していました。その思いはおそらくこの会報をお読みになっている同窓生の方々も同じではないかと思いますが、これまで竹田高校は校

舎の改築をはじめ、多くの「変わったなあ」を辿ってきたことと思います。

そこで今回は、本年度（令和3年度）、竹田高校が大きく変わった部分についてお伝えしたいと思っています。

一番大きな変化は、全校生徒にタブレット端末（iPad）が配布されたことです。コロナ禍における学習支援とともに昨今のICT教育の推進により全県下の県立高校に配布されたタブレット端末。これにより生徒の学びの形は様変わりしました。

本校では、同窓会にご支援いただいているスタディサプリに加え、クラスでの連絡、授業時の資料配布、遠隔での授業配信、各種アンケート等をMicrosoft 365のアプリ



タブレットを用いた授業の様子

MetaMoji Classroomで生徒が共同作成した修学旅行ガイドマップ



ケーションの1つであるTeamsで行っています。

また、授業時の小テスト、意見交換、またレポート作成等にMetaMoji Classroomというオンライン学習システムを利用しています。

Teamsでは、より効率的に教員・生徒間の情報交換を行うことができ、生徒のみならず教員側の働き方改革の一端も担っています。MetaMoji Classroomでは、以前よりも双方向性のある学習を実践することができるようになり、生徒の学びがより深いものになっています。当然でありますが、母の時代はおそらくチョークと（教員の）トークが主流の時代。時代の流れとともに竹田高校の学びの形も大きな変化を見せています。

変わらない竹田高校

一方で、時代が移り変われど、変わらない竹田高校の姿も

あります。私が竹田高校に赴任して一番に感じるのは、地域に愛され続けている竹田高校の姿です。私は現在野球部の部長をしておりませんが、監督は、本校卒業生（昭63年卒）の相馬豊樹先生です。相馬先生からよくご自身の高校時代の思い出話を聞かせてもらいますが、一番登場機会の多いワードは、「今勢屋のサンドイッチ」です。皆様はいかがでしょうか。

竹田高校から豊後竹田駅までの道中、本町通り沿いにある今勢屋さんは、お聞きしたところによると、明治23年駄菓子製造販売店として創業、手作りサンドイッチが当店一番の看板商品。昔から竹田高校生の放課後のひとときを支えてくれたお店のようですが、それは今も変わらず、多くの竹田高校生が美味しいサンドイッチを求めて足を運んでいます。

他にも、土日の部活帰りに



今勢屋

は、お昼ご飯に丸福の唐揚げを食べて帰る生徒の姿も見かけます。

また、昨年度は、1学年部が岡城遠足を行うなど、地域の中で竹田高校は育ててもらっています。これからも地域に愛される竹田高校の姿は変わらないものであつて欲しいと願っています。



岡城遠足

変えていきたい竹田高校

最後に、将来の竹田高校に目を向けて、「変えていきたい竹田高校」についてお伝えして終わりにしたいと思います。

昨年の本会報でも触れられていた、深刻な生徒不足についてです。現在、竹田高校は、いず

れの学年も定員に満たない生徒数（資料参考）となっています。私が担当する野球部も2年生部員7名、マネージャー1名、1年生部員6名、マネージャー1名と2年連続で1学年9名を下回り、1年生大会は連合チームで出場しているのが現状です。何とかこの状況を打開しようとして、今年は、「竹田高校の未来を考える」と題した職員研修を行い、竹田高校の存続や発展について議論を行うなど、あの手の手で定員確保のためにできる限りのことを行っています。

学生寮を作っては？ スクールバスは実現可能か？ 私たち現職員もこの竹田高校の伝統、歴史を継承すべく、様々な意見を出し合いながら、試行錯誤を重ねております。

〈在籍者数〉

卒業年	在籍者数 (卒業生数)	定員数	クラス数
S52	317	320	7
S63	271	280	7
R4（現3年）	145	160	4
R5（現2年）	131	140	4
R6（現1年）	113	140	4

竹田市の話題

新市長に同窓生・土居昌弘氏が就任



竹田市長
土居 昌弘 氏
(昭63年卒)

どうか同窓会の皆様方にもお力添えをいただければと思うと同時に、私自身も、母が在籍したこの竹田高校に赴任すること

ができた巡り合わせに感謝し、日々精進していく所存であります。同窓会の皆さま、今後ともよろしくお願いいたします。

大分県立竹田高等学校関東同窓会会員の皆様、はじめまして。竹田市長の土居昌弘です。

平素から関東同窓会の菅会長をはじめ会員皆様には、竹田市の発展のために多大なるご支援・ご協力をいただいております。事に深く感謝申し上げます。本来であれば、総会・懇親会に参加し直接挨拶させていただくところですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止を余儀なくされたと聞いており、皆様とお会いすることができずとも残念でなりません。しかし、オミクロン株の急速な拡大により、全国的に感染者数が急増し、竹田市においても

連日感染者が確認されるなど予断を許さない状況が続いております。様々な場面で市民の皆様、基本的な感染予防対策をお願いしておりますが、会員皆様におかれましては十分ご留意いただければと考えております。

さて、昨年4月の市長選挙で市民の皆様への負託をいただき、「いのちを守り、いのちを育み、そしていのちを輝かせる」竹田市づくりを基本理念に、竹田市長として市政の更なる発展のために日々邁進しております。特に、大分と熊本を結ぶ地域高規格道路「中九州横断道路」では、竹田阿蘇道路（およそ22キロ）の調査測量など事業が進んでおります。また、幾度も襲われた水害の備えとして完成を熱望している「玉来ダム」がよい今年竣工の運びとなりました。

さらに、基幹産業である農業分野においては、令和元年度ベースで約211億円と5年連続大分県トップであり、ふるさと納税の返礼品としても大変喜ばれております。若い世代の就農や規模拡大などが進んでおりますが、令和2年実施の国勢調査結果を見ても人口減少・少子高齢化・過疎化が顕著でございます。市民が幸せに暮らせるために汗をかきながら政策を推進していく所存です。これまで同様ご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

私自身、竹田高校在学中は器楽部に所属し、部長を務めさせていただきました。毎年行われる竹田高校器楽部定期演奏会をはじめ、各種イベントなどの演奏など後輩たちの活動を応援しております。校訓である「自律・自尊・進取研鑽・和衷協同」は卒業した今でも深く心に残り、人生の指針となっております。現在、西山学校長とも連携を深め、中高連携事業として市内中学生の学力向上セミナーなど開催するなど、竹田市の教育環境の向上に積極的に取り組んでまいります。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、会員皆様と早い時期にお会いできるのを楽しみにしております。会員皆様のご健勝、ご活躍を心底から念願申し上げます。私からのメッセージとさせていただきます。



窓生登場①

図書館の思い出

岩男 曉子さん（旧姓・江上、昭62年卒）



岩男 曉子さんと推薦図書

数々、受験や感想文に役立つ太宰治や芥川龍之介など文豪の皆様、ファンタジーと思って読んだ宮沢賢治やサン・テグジュペリ、お恥ずかしいことにわかったふりをしていました。

でも、です。

大人になって経験値が増える、感覚で思い出します。空気感というのでしょうか、立ち止まりたくなるような感触が蘇ります。

実は私は小学校から高校までずっと図書委員でした。委員の選出もせずに「はい、図書委員は江上な」と担任から指名を受けて、断る間もない程度でした。少女は青い春を本とともに過ごしました。

図書委員ということもあり、大人が読んでほしい本を積極的に読んでいました。時に「なんのことかわからん。」内容の



岩男さんが在校時に所属していた文芸部（前列右から2人目）



在りし日の図書館（建物は現存していない）

第8回目となった寄贈図書一覧

	図書名	著者	推薦者
1	不都合な真実 スペシャル・コレクションズ・エディション [DVD]	アル・ゴア	内藤賢一 (昭52年卒)
2	泣くな研修医1	中山祐次郎	
3	エレジーは流れない	三浦しをん	
4	運転者 未来を変える過去からの使者	喜多川泰	岩男 曉子 (昭62年卒)
5	苦しかったときの話をしようか	森岡毅	
6	女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと	西原理恵子	
7	100万回死んだねこ	福井県立図書館 編著	後藤章仁 (昭52年卒)
8	女の子はどう生きるか 教えて、上野先生	上野千鶴子	
9	ブラザーズ・ブラジャー	佐原ひかり	
10	目の見えない白鳥さんとアートを見にい	川内有緒	
11	六人の嘘つきな大学生	浅倉秋成	
12	小説十八史略（一）	陳舜臣	牧野浩志 (昭60年卒)
13	方法序説	デカルト	
14	利己的な遺伝子	リチャード・ドーキンズ	
15	台湾を愛した日本人土木技師 八田與一の生涯	古川勝三	
16	シュンペーター 孤高の経済学者	伊東光晴	
17	国民のための経済原論	小室直樹	
18	『武士道』 解題 —ノーブレス・オブリージュとは	李登輝	
19	アメリカの鏡・日本	ヘレン・ミラーズ	
20	失敗の本質 —日本軍の組織論的研究	戸部良一等	
21	空気の研究	山本七平	
22	先哲が説く指導者の条件『水雲問答』『熊沢蕃山語録』に学ぶ	安岡正篤	
23	横井小楠 —維新の青写真を描いた男	徳永洋	

牧野浩志さん（昭60年卒）は各図書に丁寧な推薦理由のコメントをいただきました。本ページの岩男さんの寄贈と合わせて在校生に届けるために本紙とは別に対応を検討させていただきます

「大志文庫」への推薦図書

『運転者 未来を変える過去からの使者』

喜多川 泰／ディスカヴァー・トゥエンティワン

「報われない努力なんてない！」

だから読書は面白いと思います。

上京して、竹田の図書館の充実さに驚きました。本に重きをおいている環境って実はすごく恵まれているのです。

大人になっていく皆さんへ本がこころを充足させる一助になつていくことをお伝えできれば幸いです。

（30年以上前の図書委員より）

帯に書かれている言葉が、あた

たかく静かに沁みていく本です。

ポジティブな言葉や考えが並べられていく訳ではありません。

しかも最初は何かにつけ愚痴を言う主人公の「運の悪さ」から始まります。印象と違うぞと

思いながら読んでいくと、体験や出会った人たちが、いつの間にか物語と自分の記憶が重なってきます。

私にとって偶然の積み重ねで

しかなかった今が、授かった宝物だと気が付かせてもらいました。

長い命の繋がりの中に私があること、存在できる有難さに

胸が熱くなります。感染症の影響で日常が変化しました。儼然

らない現状に悔しさが募ります。

しかしこれほど人が支えあつて明日を創っていくこと、誰もが未来を繋げる一人であること

を実感できた時代はありません。

幸せのコツは、能天気であることだそうです。気楽そうですが、実は深い意味があります。

いつも笑顔でいようと思えます。前向きでいようと思えます。

ぜひ本を読んでいただいで、未来に煌めいてほしいです。

『苦しかったときの話をしようか』

森岡毅／ダイヤモンド社

『女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと』

西原理恵子／角川書店

この2冊は私の子どもに読ませたい本です。しかし我が家で

剣道の聖地・京都武徳殿にて



生窓② 同登場

私の剣道の原点「竹田高校剣道部」 池内昭一さん(昭52年卒)

は母親の薦める本なんて見向きもしてくれません。本棚の片隅に置いておくことで、いつか悩むときがあれば手にしてくれたらいいなと思っています。本には、転ばぬ先の杖を子どもに持たせてあげたい「親心」がいっぱい詰まっています。

上京して電球が割れた下宿で一晩過ごした西原さんは、ひとり暮らしが泣きたい夜もひとりで過ごすことだと実感します。逞しく自立していく女性の姿が

書かれています。

どちらの本も境遇を乗り越えていくためのノウハウが刺激的、超現実的に描かれています。善悪、清濁すべてが私たちの生きていく社会なら、怯んではいられません!! 前進あるのみ!! そう教えられる本です。

ところが迷った時、思い出しでもえたら嬉しいのです。困難に遭遇しても世界は、いつも希望と可能性に溢れているものです。

「臥牛」編集責任者の衛藤君から「剣道部の思い出」を寄稿してほしいという突然の依頼が。同じ出版業界に身を置いていると彼とは異なりこちらは営業一筋。筆には全く自信がないが、同期のたつての願いうことで一肌脱ぐことにした。テーマは「剣道」とのこと。在京の竹田高校剣道部OBにはそうそうたる先輩、後輩がいる中で、なんで自分ごとかと思いつつ筆を執ることにした。

私と剣道との出会いは小学校5年生の時の旧竹田警察署の裏にあった少年輔導センターでの稽古見学まで遡る。当時は少年剣道が盛んで、多くの子どもたちが通っており、後に高校で剣

道を再開した時に一緒に過ごさせていたいただいた先輩、後輩も少なくない。(中学校3年間は野球部に在籍) 竹田高校への入学が決まり、かねてから部活動を選ぶ時は強い部活動に入ろうと決めていたこともあり、無謀にも迷わず剣道部を選んでしまった。

当時の剣道部は県大会上位入賞を目指し、高山誠一先生のご指導のもと多くのOBも指導陣に加わり稽古に励んでいた。覚悟はしていたものの3年間のブランクもあり、小柄な私は稽古についていくのがやっとであった。そんな中、3年間まつとうできたのは同期の絆は勿論、他ならぬ高山先生の厳しい中にと見せる思いやりや、先輩方の稽古を離れた時の優しさがあつたからこそである。

また、じつちゃん(私たちは親しみをこめて密かにこう呼んでいた)との再会も外すことはできない。じつちゃん、こと吉良和光先生は竹田の剣道のパイオニアと言っても過言ではなく、広く剣道界に知れ渡る大先生で剣道部の師範をされていた。小学校の頃も稽古をいただいていたが、面金の奥から時折見せる優しい眼が私を支えてくださっていたことは否めない。高校においても厳しい稽古の合間の「慈愛の眼」は健在であった。

厳しい中にも楽しい部活動で

あつたが、特に印象に残っているのは夏合宿と遠征である。夏合宿では帰省した大学で活躍されている先輩方が稽古をつけて下さるのだが、子どものように捌かれるのが悔しくて、がむしゃらに掛かっていったことを思い出す。また、遠征では高山先生が九州学院高校や龍谷高校などの強豪校が集まる合同稽古会に連れて行って下さり、全国レベルを身をもって感じる事ができたのも印象に残っている。この経験が大学で剣道を続けるきっかけにもなった。

大学は明治大学に進んだ。ここでもまた「どうせやるのだったら」が頭をもたげた。分不相応にも勢いで体育会の剣道部へ入部を決めたのだ。当時は約80名の部員がいる中、全国大会入賞者が約半数を占め、一般入学組は私を含め僅か数名であった。

明治大学の剣道は森島健男師範(範士九段)のもと大学強豪校でありながら、勝敗よりも「まっすぐな正しい剣道」による人間形成に主眼を置いていた。稽古のモットーは「体力、気力の尽きるまで」であり、想像を絶する猛稽古であった。何度も稽古中にトイレに駆け込み吐いていたことを思い出す。強豪校の剣道着を着た同期が居並ぶ中、竹田高校が入ったポロポロの剣道着を着て「なにこそ!」と思いながら先輩たちに



剣道界では伝説の師範・森島健男師範(範士九段)と(明治大学在学中)

掛かっていったことも懐かしい。大学でのこの経験がわたしの生き方に少なからず影響を与えたのは間違いないが、その礎を築いてくれたのは竹田高校剣道部と言っても過言ではない。

卒業後は仕事の関係で15年間程剣道から離れ、再開できたのは40歳を過ぎてからだだった。現在、教士七段をいただき指導者として道場に立つ機会もあるが、剣道を通じて得たものをどう伝え共に学んでいくかが今後の課題である。現役を退き時間にも余裕が出てきたことで、明治大学剣道部OB会のお手伝いも仰せつかり、より一層剣道に関わる機会も増えてきた。「交剣知愛」という言葉があるが、これからも剣道を通じて得た多くの人たちとご縁を大切にしていきたいと思っている。

同窓生・同期生
掌握のお願い組織委員長
高橋 敏政
(昭46年卒)

新型コロナウイルスの感染が広がる中、関東同窓会会員の皆様如何お過ごしでしょうか。コロナ感染に伴う数々の緊急事態宣言等感染防止対策が発せられる度に、会いたくても会えない、集まりたくても集まらない状況が続いているものと拝察いたします。

数年前流行した歌手中島みゆきの歌唱する「糸」に「縦の糸はあなた、横の糸は私、織りなす布

新任校長紹介



合澤 哲郎 校長

竹田高校・昭和56年度卒業(34期)出身・豊後大野市緒方町

高校時代は山岳部に所属し、また教員として竹田高校に平成18年から令和元年まで、14年間勤務いたしました。今年度、校長として3年ぶりに母校である竹田高校に復帰することができ大変嬉しく思っています。日頃より、関東同窓会の皆様から竹田高校へのご支援・ご協力をいただき、大変有難うございます。どうぞ今後とも母校をよろしくお願い申し上げます。

連絡先

組織委員長 高橋 敏政
TEL.090-5173-3020

学年幹事一覧

卒業年次	氏 名
昭和26卒	濱口 鈴子
昭和27卒	津田 美枝
昭和28卒	益永 三生
昭和30卒	用正 靖彦
昭和31卒	河野 智治 高橋 房枝
昭和32卒	高橋 勝和 藤原 保範
昭和34卒	服部 恭一 市村 真一
昭和35卒	平手 肇
昭和36卒	吉村征二郎
昭和37卒	桃溪謙次郎
昭和38卒	統 勝三郎
昭和39卒	安藤 紀
昭和40卒	田部 厚 大坂 好美
昭和41卒	中神 章彦 後藤 章一
昭和42卒	堀 正孝
昭和43卒	甲斐 文夫 工藤 和博
昭和44卒	伊東 忠明 高橋 博子
昭和45卒	川口 弘展 原田 健治
昭和46卒	日高 慶記 保坂 斎子
昭和47卒	柚須 潔 後藤 和典
昭和48卒	戸次 幸二 山村恵美子
昭和49卒	村上 泰子 田北 豊明
昭和50卒	安藤 京子 羽田野久仁子
昭和51卒	飯田 良典 鈴木 敬子
昭和52卒	内藤 賢一 後藤 章仁
昭和53卒	宮木 勢 渡辺 隆
昭和54卒	佐保 哲郎
昭和55卒	垣内富貴代 板井 浩司
昭和56卒	武内 宏文 岩野 香織
昭和57卒	佐藤 孝一 阿南 寛
昭和58卒	森 純洋 柳川美砂江
昭和59卒	衛藤 寛 大石 美紀
昭和60卒	川島 秀夫 米野 良恵
昭和62卒	竹下 賢仁 戸林 知輝
昭和63卒	川辺 浩克 肥田 雅子
平成3卒	波多野寛昭
平成7卒	古庄 実
平成11卒	井筒 剛司 山口 慶明
平成13卒	工藤 一瀬 山口 明
平成15卒	工藤 佑允

(令和3年3月)

は... 関東同窓会を織りなす布に例えれば、縦の糸は先輩・後輩の繋がり、横の糸は同級生・同学年の繋がり即ち同期生の繋がりになります。まずは同期生の繋がりの強さ、広がり、関東同窓会存立の基本であり、一番大切なことであると考えています。いつまで続くか予測できないコロナ禍では、なおさら同期生がお互いの近況なりを電話、ライン等により連絡、声掛けし相互間の絆を強くすることの必要性が増して考えると考えます。

学年幹事の皆様には、年数回の幹事会に参加いただき、貴重な意見・考えを披露していただき、同窓会の活動に貢献してもらっています。

どうか会員各位におかれましては、学年幹事を中心として、密に連絡を取り合い同期生の絆を更に強くするように努めていただければ、より一層の同窓会の発展につながるっていくものと考えています。

どうか各位の御理解、御協力を賜りますようお願いいたします。

計 報

慎んでお知らせ申し上げ、心からご冥福をお祈りいたします。

物故者御芳名

※順不同

鈴木 敏郎様(昭25年卒)	2019年	没
紀成 博章様(昭26年卒)	2021年2月	没
山崎 恵子様(昭31年卒)	2019年	没
進藤 諭様(昭29年卒)	2020年10月2日	没
嘉数 良雄様(昭33年卒)	2020年5月28日	没
本田タミ子様(昭29年卒)	2021年3月29日	没
田中 公生様(昭36年卒)	2021年1月16日	没
増野陽太郎様(昭24年卒)	2005年	没
伊東 辰郎様(昭20年後卒)	2015年	没
釘宮 有路様(昭52年卒)	2021年6月19日	没
森 勝幸様(昭30年卒)	2021年8月7日	没
菅 紀代巳様(昭34年卒)	2021年9月14日	没
後藤 千代様(昭35年卒)	2021年10月30日	没
衛藤太平洋様(昭27年卒)	2022年1月20日	没
土屋 健児様(昭33年卒)	2022年1月30日	没
野尻 雅子様(昭28年卒)	2019年2月13日	没
後藤美代子様(昭26年卒)	2022年1月2日	没
吉野 昭重様(昭26年卒)	2022年2月24日	没
佐藤 浩一様(昭23年卒)	2021年3月	没

※事務局へ連絡をいただいた方々を掲載させていただきました。

●連絡先●

〒181-0003
東京都三鷹市北野2-3-22
(広報委員長 衛藤 淳 宛)
TEL 090-9159-7231
FAX 0422-4317762

mail to : etoj@hotmail.com

編集後記 コロナ禍が続く中で各地の高校同窓会の会合は、今年も多くが中止と聞いています。

私たち竹田高校関東同窓会は懇親会は断念したものの「総会」は挙行する運びとなりました。感染症対策に細心の注意を払いながら集い合いたいと思います。

▼恩師から便り募集!! 「恩師からの便り」に登場してほしい恩師の要望をお寄せください。担当者が現在の恩師の連絡先を調べて寄稿依頼をいたします。

▼同窓生登場 自薦他薦による寄稿をお待ちしております。「高校時代の思い出」「部活の思い出」「同級生との交流の話題」など、テーマは自由です。左記の担当者連絡先までぜひお寄せください。お待ちしております!!